

令和6年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第3回）議事要旨

日 時 令和6年7月22日（月）13:00～17:55

場 所 新見市役所本庁舎3階 第4委員会室

出席者

評価委員会 岡崎委員長、中西委員、加藤委員

事務局 泉課長、津内主任

■要旨

第2回評価委員会における新見公立大学からの説明に基づき、各委員が意見を述べ評価を行った。

次回評価委員会では、今回の審議結果に基づき事務局がとりまとめた公立大学法人新見公立大学業務の実績に関する評価結果（案）についての内容確認を行うこととなった。

■詳細

【令和5年度事業実績】

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定は3とする

1 教育

1) 教育の内容

⇒評価項目評定を4とする

委員：国家試験の高い合格率が評価できる。

委員：各資格の取得に学生が意欲的に取り組んでいる。

委員：看護学専攻（博士後期課程）に1期生2人が入学生したことにより、学生を獲得できるコースが成立した。

委員：キーボード入力速度について、実績が向上してきている。

委員：情報リテラシー能力が向上している。

2) 教育の実施体制

⇒評価項目評定を3とする

委員：「大学が求める教員像及び教員組織の編成方針」に基づいて、年度当初に4人の教員を採用しているとのことだが、4人は計画どおりの人数か。

事務局：計画どおりの人数。退職した教員に対して2名、認定看護師2名の4名。

委員：計画どおり確実に教員の獲得ができてきている。

委員：コロナで途絶えていて実施できていなかったFD・SDワークショップについて、大学院健康科学研究科改組を機に、第1回大学院FD・SDワークショップを全専任教員に加え学長と教務課職員2名の参加を得て実施したことが評価できる。引き続きの実施を望む。

委員：IRによる本学教育の特色の把握が成功しているため、学生の確保とレベルの高い学生が集まっている。学生と教員が親密なコミュニケーションを取っていることで、学生も頼れて勉強をしやすい環境ができている。

2 研究

1) 研究の内容

⇒評価項目評定を3とする

2) 研究の実施体制

⇒評価項目評定を3とする

委員：「中山間地域の全世代型地域包括ケア看護学/福祉学」の体系化と課題解決の方策を研究し、実践モデルを構築する体制を整えたことが評価できる。全国で話題になっていると聞いたため、進めていってほしい。

委員：ある程度研究に時間が取れる大学でないと教員が来ても教えるだけで終わってしまったらどうなのか。ある程度研究をしたい教員はいるのでは。

委員：せっかく新見に大学があるのだから、地元の小中学校は保育の件などで大学に支援を求めたいという思いはあった。このような研究をされていたら現場でも取り入れながらできるため、そのような大学であってほしいと思うが、どちらかと言うと資格を取ることが増えたため、専門学校化している印象を受ける。その分学生の質は高まるが。

委員：課題先進地域という特色を活かした看護・介護と連携したような研究など少ないニーズで小さなまちに対してどのような組織を作ればいいのかのような研究に強くなれば全国に発信できるかと思う。

委員：地域の問題点を洗い直して新しい研究をしてほしい。

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

⇒評価項目評定を4とする

委員：定員割れがなく、安定して入学者を確保できている。

委員：手段として、ホームページへの活動紹介で年間36本、地域の活動を16本でコンスタントにホームページのアクセス数も上がっている。

委員：入試倍率が2.9倍（令和4年）から1.9倍（令和5年）とかなり落ちていることについては懸念される。

委員：生徒数の減少や大学の増加が影響していると思われる。

委員：お金をあまり払わなくても行ける大学が増えてきているなど周りの環境が変わってきた結果だと思う。

委員：特に健康保育学科の実質倍率が2.4倍から1.2倍と半減しており入試倍率の低下が懸念されるため注意して定員割れを起さないように気を付けてほしい。

委員：国家資格合格率がほぼ100%に近いので自信を持っていると思うが、少子高齢化に対して学生の確保をあらかじめ考えておいてほしい。

2) 学生に対する支援

⇒評価項目評定を3とする

委員：能登半島地震のような災害が起きた時、万が一連絡が取れなかった時のユニバーサルパスポートや Teams に代わる対応策も考えておいてほしい。

II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を4とする

委員：新見駅西サテライトの活用が回数を重ねてきていることが評価できる。

委員：地域共生推進センターを中心としたボランティアを推奨ということが、外部が評価する認証評価でも優れた点として評価されているので、「4」でも良いと思う。

委員：学生達の地域に出て行つての活動もだんだんと質も上がり、規模も大きくなっている印象を受けるため「4」にして良いと思う。特に駅西サテライトができ、拠点として学生が活動している。

委員：4町は駅前だけではなくこちらにも来て欲しいという意見がでている。

委員：地域住民と協働企画したみんなの広場・むすびの会も増えてきているとのこと。

III 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定は3とする

委員：年計 32-①に土下座祭りの実績やボランティアの大きなことを書いてあれば評価できる。

委員：地域運営組織に SA が入って行って協働で事業をしていることが評価できる。

委員：交流センターの地域の人利用が少ないと思うため、もっと使いやすいように、使っ
て良いことが分かるように PR してほしい。

委員：駅西サテライトは利用者数の数字が良いが、大学本体の方が入りづらい。

委員：小学校の発表会などで使えば良いがなかなか使われていない。

事務局：学生が大学に行くには学校がバスを用意しないといけないなど足の問題があるため行きにくいと思われる。

IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 組織の改善及び効率化

⇒評価項目評定を3とする

委員：新設された「構想部会」や「企画評価室」がきちんと機能するように努力してほしい。

2 人事の適正化

⇒評価項目評定を3とする

委員：職員の数が前は足りずに専門職を入れたりすると言っていたが、今は足りている。

事務局：市からの派遣人事もあるため整合性を取りながら適正化の計画を立てている最中だと思う。

委員：プロパー職員の採用について、一般職を含め広く人材を確保できる基盤ができ始めている。

V 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 自己収入の確保及び増減リスクへの対応

⇒評価項目評定を3とする

委員：未納・延滞もなく100%の収納率になったことが評価できる。

2 外部資金の獲得

⇒評価項目評定を3とする

委員：外部資金の中には一般の人がコロナの時にしてくれた寄附の金額は入っていないのか。

事務局：寄付などは入っていないと思われる。

委員：引き続き積極的に外部資金を獲得してほしい。

3 経費の抑制

⇒評価項目評定を3とする

委員：電気代の節約について早急に検討し、より経費の抑制に努力してほしい。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を4とする

1 自己点検及び自己評価

⇒評価項目評定を4とする

委員：自己点検・自己評価を常に行っているため認証評価で優秀な評価を得られたと思うので、引き続き内部での自己評価・自己点検を継続的に行い、外部からの評価も素晴らしい評価を今後も得られるように頑張してほしい。

2 情報公開及び情報発信

⇒評価項目評定を3とする

VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 施設・設備の整備及び活用

⇒評価項目評定を3とする

委員：入学する学生の選考理由になってきていると思われるため、ジェンダーフリーやバリアフリーに対応する施設の整備をしてほしい。

2 危機管理及び安全管理

⇒評価項目評定を3とする

委員：災害や情報セキュリティが日々進化して色々なところが狙われているため、強化してほしい。

委員：子宮頸がんワクチンの全員接種に向け、勧奨を行っていることが評価できる。

Ⅷ 予算、収支計画及び資金計画

⇒大項目評定を3とする

Ⅸ 短期借入金の限度額

⇒大項目評定を3とする

Ⅺ 剰余金の使途

⇒大項目評定は3とする

XⅢ 新見市地方独立行政法人法施行規則（平成20年新見市規則第16号）で定める事項

⇒大項目評定は3とする

1 施設及び設備に関する計画

⇒評価項目評定を3とする

委員：勤怠管理・経費精算システムを導入し、効率化に寄与していることが評価できる。

2 中期目標の期間を超える債務負担

⇒該当なし

3 地方独立行政法人法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の使途

⇒評価項目評定は3とする

【第3期中期目標期間中間評価に係る実績】

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定は4とする

1 教育

1) 教育の内容

⇒評価項目評定を4とする

委員：国家試験の高い合格率を維持してほしい。

2) 教育の実施体制

⇒評価項目評定を4とする

委員：認証評価で高い評価を得ていることから中間期において取組の充実が図られたということで評価は高く良いと思う。

委員：問題を認識して改善に取り組むことが早いと感じられる。例えば実習先が少ない場合増やすなど迅速に動いていることが伝わってくる。

2 研究

1) 研究の内容

⇒評価項目評定を3とする

委員：達成の見込みが研究を進めているや頑張ろうとしているという表現のため、これからに期待する。

委員：地域のニーズや中山間地域の問題・課題についてはある程度把握しているが、それについてまだ対応できていないところがあるため、努めているという言葉になっていると思われる。把握したことに対する対策や対応を行ってほしい。

委員：一歩進んだ積極的な情報発信をもう少ししてほしい。

委員：「全世代型地域包括ケア研究センター」の設置について評価できる。今後、早めに機能することを希望する。

2) 研究の実施体制

⇒評価項目評定を3とする

委員：令和2年度から科研費の件数が伸びてきているため、今後の研究の取組に期待する。

委員：積極的に科研費について獲得し、増加傾向にあるが、さらに外部資金を獲得して研究を行ってほしい。

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

⇒評価項目評定を4とする

委員：毎年定員を上回る入学者を確保したことは、なかなか難しいことだと思う。

委員：高校への訪問対応にしっかり取り組んでいることが評価できる。

委員：昔は定員割れをしたことがあったと思うが、それがないということはすごいことだと思う。

委員：教員と学生のコミュニケーションが良く取れていること、学生の支援が充実していることなどメリットをPRしながら、引き続き大学院の学生の確保をしてほしい。

委員：大阪公立大学や兵庫県立大学が授業料等無償化に動いているという話があったため、そういった無償化の動きをしっかり捉えていかないと誰も来なくなる怖さがある。新見自体良く頑張っているが、外が変わっており、有名な大学が無償化の動きがあるためライバルが増えるという危惧はある。授業料等無償化の動きをしっかり捉えて今後の学生確保に努めてほしい。

2) 学生に対する支援

⇒評価項目評定を4とする

委員：経済的な支援ができていて、チューターを中心にフェイスツーフェイスの支援体制を構築していることが新見公立大学の良いところだと思う。Teamsなどを使って学生と教員が良くコミュニケーションを取れていることが評価できる。

II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を4とする

委員：学生がディスカッションやワークショップやボランティアなどで地域や小学校や幼稚園などいろいろな所に出て活躍していることが評価できる。

III 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定は4とする

委員：駅西サテライトやボランティアで地域に出て行って大学自体は開かれているが、地域共生推進センター棟の施設の利用もPRして市民に利用促進を図ってほしい。

委員：地域運営組織にSAが入って行って協働で事業をしていることが評価できる。

委員：交流センターの地域の人利用が少ないと思うため、もっと使いやすいように、使って良いことが分かるようにPRしてほしい。

IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 組織の改善及び効率化

⇒評価項目評定を4とする

委員：短期大学から四年制大学に上手く移行でき、組織の再編が上手く出来た。

委員：今後の健全な学校運営と教育が提供できるように組織の改編をさらに検討して実施してほしい。

2 人事の適正化

⇒評価項目評定を3とする

V 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 自己収入の確保及び増減リスクへの対応

⇒評価項目評定を3とする

2 外部資金の獲得

⇒評価項目評定を3とする

委員：外部資金の令和5年度分の金額が多いのは何のお金か。

事務局：令和7年度から全世代型地域包括ケア研究センターが開設するB課程摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の準備のための補助金【医療施設運営費等補助金】【看護師の特定行為に係る研修期間導入促進支援事業】の金額が2,474,000円あるとのこと。

3 経費の抑制

⇒評価項目評定を3とする

委員：引き続き経費の抑制に努めてもらいたい。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 自己点検及び自己評価

⇒評価項目評定を4とする

委員：自己点検・自己評価をずっと続けてきた成果が、認証評価で49校中3校の「指摘事項なし」の優秀な評価につながったことが評価できる。引き続き自己点検・自己評価を行ってほしい。

2 情報公開及び情報発信

⇒評価項目評定を3とする

VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 施設・設備の整備及び活用

⇒評価項目評定を3とする

委員：駅西サテライトについては幼児用トイレを設け、ユニバーサルデザインにしたとのことだが、大学もジェンダーフリーやバリアフリーに対応する施設の整備をしてほしい。

2 危機管理及び安全管理

⇒評価項目評定を3とする

委員：情報セキュリティを強化してほしい。

VIII 予算、収支計画及び資金計画

⇒大項目評定を3とする

IX 短期借入金の限度額

⇒大項目評定を3とする

XII 剰余金の使途

⇒大項目評定は3とする

XIII 新見市地方独立行政法人法施行規則（平成20年新見市規則第16号）で定める事項

⇒大項目評定は3とする

1 施設及び設備に関する計画

⇒評価項目評定を3とする

委員：長期に渡って計画的に整備してほしい。

2 中期目標の期間を超える債務負担

⇒該当なし

3 地方独立行政法人法第 40 条第 4 項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の使途

⇒評価項目評定は3とする

■その他

委員：年度別の項目別実績報告書の記入について、目標に対して目標を半分コピーして「できた」ではなく、「～をして〇〇〇で目標を達成できた」というように実績を書いてほしい。また、Ⅱ社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置で駅西サテライトやえきよこは出てきているが、他の地域にも出向いて実績を積んでいると思う。ボランティアもいろいろなボランティアをしていると思うが、その辺りをもう少し書いてもらえれば評価ができる。